

世界農業遺産 高千穂郷椎葉山地域 活性化協議会総会



5月23日(水)に、高千穂町役場にて「世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会」の第1回総会が開催され、認定地域5町村(高千穂、日之影、五ヶ瀬、諸塚、椎葉)の首長や県の農政水産部、環境森林部の両部長、JAや観光協会など、地元団体の長からなる委員22名を含め、約50名が出席しました。

昨年度の主な取組について報告があった後、本年度の事業計画について提案があり、特産品等認証基準の策定やガイド育成に向けた取組、高校生を対象とした教育プログラムの実施等が承認されました。また、地域の取組への支援や積極的な広報宣伝を通して、引き続き地域の振興に結びつくよう取り組んでいくことが確認されました。【農政水産課】

★世界農業遺産に関する平成29年度の主な取組★



△世界農業遺産に関する研究について、宮崎大学の藤掛一郎教授による報告。



△高千穂高校生(2、3年生)を対象に、放課後等を活用したフィールドワークやディスカッション、プレゼンといった能動的なプロジェクト学習の実施。



△東京都や福岡県、宮崎市にて世界農業遺産のPR活動。わら細工体験や棚田米、釜炒り茶・焼酎試飲のほか、神楽面の製作実演などを通じた高千穂郷椎葉山地域の“普及啓発”を実施。



△GIAHSアカデミーの取組について、グローバルアカデミーの田阪真之介氏による報告。



△農業遺産を切り口とした旅行商品の造成に向けた、ワークショップ等での観光資源の磨き上げやモニターツアーの実施。

△世界農業遺産の保全継承に資する農林産品(棚田米やしいたけ、釜炒り茶など)の付加価値の向上や販路拡大に繋がる「特産品等認証基準」の策定に向けた、統一デザインによる試験的な商品の販売。

「いきいき集落」に五ヶ瀬町荒谷地区が認定

5月17日（木）に、五ヶ瀬町鞍岡の荒谷（あらだに）地区で、いきいき集落の認定式が行われました。「いきいき集落」とは、中山間地域の活性化を図るために、元気な集落づくりに取り組む集落で、県の中山間地域振興計画に基づき、平成20年度から認定を行っているものです。

交付式には、公民館の役員や地域住民の皆さん、約20人が出席しました。日高中山間・地域政策課長からは、「認定を機に、これまで以上に力を合わせて地域を盛り上げていただきたい」と挨拶がありました。荒谷集落は10世帯・37人の地区で、農地の維持活動や集落内の美化活動、五ヶ瀬町の景勝地である「白滝」周辺の維持管理に力を入れて取り組まれており、毎年「白滝もみじ祭り」を開催し、町内外から白滝の紅葉を見ようと観光客が訪れています。

高齢化が進む中であって、集落の住民が互いのために農地の維持や保全、集落の活性化に取り組んでいる点が高く評価され、今回のいきいき集落の認定に繋がりました。



公民館で行われた交付式の様子



維持保全されている農地

高千穂小学校で神代川かわまちづくりの授業

5月24日（木）に、高千穂小学校の4年生を対象に「神代川かわまちづくり」をテーマとした授業が行われました。

この授業は、昨年度から実施しており、「神代川のことを子ども達が将来誇りに思えるような川に」という行政の思いと、「生徒達に高千穂のことをもっと知って欲しい」学校の先生方の思いが重なったことで、定期的に授業を行っており、今年度はその第1回目となります。

今回の授業では、神代川に関する座学の後、実際の現場見学を行いました。工事に着手してから3年が経過する今年度は、河床の工事を実施する予定です。擬岩コンクリートと石材を用いて、神代川を昔の風合いに近づけていく工事になります。これからも変化し続ける神代川にご期待ください。【土木課】



現場で授業を行っている様子



現場の様子



河床仕上げのモデル

知事に新茶の贈呈・高千穂町釜炒り茶初入札会

5月2日（水）に、「みやざき茶推進会議」（江川哲雄会長）が、知事や副知事を訪問し、新茶の贈呈を行いました。

西臼杵地域からは、理事の興梶洋一さん（宮崎県茶業協会副会長、高千穂地区茶業振興会会長）が釜炒り茶を贈呈しました。

また、昨年度のT-1グランプリ個人の部で優勝した生徒が知事にお茶を淹れ、知事から「香りが良い」と高い評価をいただきました。

また同日、高千穂町のTACにおいて、高千穂釜炒り茶初入札会が開催されました。最高値は昨年より高く、1kgで7,220円でした。

4月・5月の晩霜で、一番茶の集荷は昨年より少ない見込みですが、品質は大変良いものに仕上がりました。茶葉で淹れるお茶はもちろんのこと、水出し釜炒り茶もすっきりした味わいで暑い季節には特にお勧めです。



西臼杵地方連絡協議会の地域別会議

5月17日（木）に、西臼杵地方連絡協議会（構成所属：西臼杵支庁、高千穂保健所、北部教育事務所、高千穂警察署の4所属）の地域別会議が行われました。

この会議では、西臼杵地域にある県の出先機関が一堂に会し、本庁との意見交換を行うもので、今回は郡司副知事が来庁し、県の働き方改革の方針等について意見交換を行いました。

その前段で、日之影町でわら細工を作っている「わら細工たくぼ」のほか、西臼杵広域消防本部の施設や、県道竹田五ヶ瀬線の工事現場等の管内視察を行いました。



高千穂町家畜市場で子牛のせり市開催

5月20日（日）と21日（月）の2日間、高千穂家畜市場において、5月期子牛せり市が開催され、郡内の生産者と県内外の多くの購買者が集まりました。

今回のせり市では、615頭が入場し、平均価格は雌子牛が703千円、去勢子牛が797千円と、前回よりも若干相場は下がったものの、高値での取引となり、最高価格、1,243千円でした。

また、地元の県立高千穂高校からも2頭の入場があり、いずれも高値で取引されました。

農家の高齢化が深刻な当地域ですが、次世代の畜産を担う若い農家の活躍が期待されます。





天岩戸保育園で木育教室

5月10日（木）に、高千穂町の天岩戸保育園で、町役場と支庁が連携した「木育活動」を実施しました。

当日は、園児14名に、布製絵本「あやちゃんと大きな木のおはなし」の読み聞かせと教室内で「木で出来ている物探し」をして遊んだ後、森のかけらのお守りづくりに取り組みました。

作業前に園児に対して、将来の夢や頑張りたいこと等の思いを込めて作業するように伝えました。木片を紙やすりで磨くうちに角が丸くなることから、園児には表面がつるつるになる感触の変化を楽しみながら作業に取り組んでもらいました。

完成までに1時間程度かかりましたが、先生にも御協力をいただき、全員完成させることができました。

最後に「楽しかった人？」と尋ねられた園児の皆さんは、一斉に元気よく「ハイ！」と手を挙げてくれたので、園児にとって良い経験になったようでした。【林務課】



【西臼杵地区】県障がい者スポーツ大会に出場

5月13日（日）に、宮崎県総合運動公園で「第17回宮崎県障がい者スポーツ大会」が行われました。陸上競技や卓球、車いすバスケットなど10競技に、県全体で1,514名の選手が参加がありました。

当日は雨が降るあいにくの天候となりましたが、選手の皆さんは家族や支援者の応援を受けながら、一生懸命にプレーしました。西臼杵地区からは、ソフトボール投げやフライングディスク、グラウンドゴルフなどの競技に39名が参加し、練習の成果を発揮しました。入賞された方々、本当におめでとうございます。【福祉課】



五ヶ瀬町で神楽の祭典が開催



5月20日（日）に、五ヶ瀬町の旧鞍岡中学校体育館で「神楽の祭典」が行われました。この祭典は、町内の神楽保存会が初めて合同で開催したもので、神楽文化の継承などを目的に行われました。

町内からは、三ヶ所神社室野神楽、古戸野神楽、桑野内神社神楽、鞍岡祇園神楽の4団体が神楽を披露しました。また、鞍岡地区に伝わる山伏伝承会による山伏問答や、鞍岡小の児童による「浦安の舞」が行われました。今回、初めて町内の神楽保存会が集まって神楽を奉納したことで、人材育成の面など今後の更なる連携が期待されます。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ  「ウキウキ! 好き好き! ニシウスキ!」更新中!

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください!

